

ぐるめ散歩

和食・居酒屋

もも亭

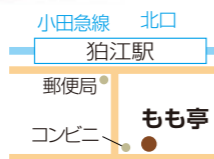
季節を感じさせる手の込んだ和食と日本酒を落ち着いた雰囲気味わえる。

全国各地の旬の魚介類や野菜を使った60種ほどあるメニューの多くは、その日仕入れた素材によって変わる。魚介類の料理が多く、湯葉とウニの吉野あんかけは開店以来の人気メニュー。季節の野菜や魚を使った土鍋の炊き込みご飯



お節料理

☎3430-9118
東和泉1-15-4 営業
午後5時～11時 水曜日休み



■おすすめMENU■ (日によって変動あり)
①松茸と海老の土瓶蒸し¥1,380 ②新さんまの炊き込みご飯 ¥1,480 ③とらふぐ「てっさ」¥1,980 / 湯葉とウニの吉野あんかけ ¥980 / おまかせ盛り合わせ (5点盛り) ¥1,580 / おまかせ海鮮丼 ¥1,580 / コース ¥4,400 ~ / お節 ¥22,000 (税込み)

旬の素材使った料理で季節感演出 多彩なメニューで和食の魅力味わう



や、多彩な味が楽しめるコース料理 (要予約) も好評だ。

店主の栗原大輔さん (51) は、都内の和食や懐石料理の店などで修業、フグの調理師免許も取得した。生まれ育った狛江で店を持ちたいと18年前に今の店の近くに最

初の店をオープン。平成31年に現在の場所に移転した。店はカウンターとテーブル3卓の合わせて15席で、満席になることも多いという。

素材の持ち味を生かすため、下ごしらえなど丁寧に調理することを心がけているほか、野菜はできるだけ地元の狛江産を使っている。

顧客サービスとして開店以来続けているオリジナルのお節料理 (26品) も好評で、11月末まで予約を受け付ける。

栗原さんは「和食は高いと思われがちですが、手頃な価格で提供していますので季節感のある日本の味を楽しんでください」と話している。

アームレスリング世界大会で準優勝

東野川の新井翔喜さん 初出場で栄冠

狛江市東野川のプロカメラマン新井翔喜さん (57) が9月25日～10月1日にマレーシアで行われた第4回IFA世界アームレスリング大会のグランドマスターズ部門 (50～59歳) 70kg級レフトで準優勝に輝いた。

アームレスリングは専用の競技台を使い世界共通の厳格なルールを使って行われる腕相撲に似た競技で、体重、年齢、腕の左右などのクラスに分かれて試合を行う。

世界大会に今回初めて出場し好成績を収めた新井さんは「初の海外大会なので、腕試しのつもりでしたが、銀メダルを取れてうれしい」と喜ぶとともに「来年のギリ

シャ大会に出場できたので、金メダルを目指したい」と意欲をみせている。

新井さんは子どもの頃からスポーツが得意で、学生時代は短距離走や走り幅跳び、10代後半にボクシングに打ち込んだ。腕力も強く腕相撲も負けたことがなかったが、47歳の時、中野区のアームレスリング道場で催された大会に参加し、60歳ぐらいのシニアに負けて悔しさとショックを覚え、本格的にアームレスリングを始めた。「60歳で世界大会に出場し金



銀メダルを手にする新井さん

メダルを取る」を目標にトレーニングに励み、大会に出場して技術を磨いた。瞬発力で相手の腕を巻き込む「噛み手」と言われる技が得意だという。日本アームレスリング連盟が昨年催した第28回JAWA全日本マスターズアームレスリング選手権で初めて準優勝し、マレーシアでの世界大会に出場した。

新井さんは五反田で妻とバナナジュース店を経営、新井さんに勝ったらジュース代を無料にするサービスを行っている。力士とも度々対戦するが負けたことはないという。

新井さんは「アームレスリングは競技台さえ準備すればどこでもできる。狛江でも競技者を増やすなど普及にも力を注ぎたい」と話している。

市民の力作が数百店ずらり 市民まつりで4年ぶり創作展

狛江市芸術協会 (熊井一男会長) が11日田・12日回に中央公民館で第42回市民創作展を開催する。

同協会はコロナ禍前まで春の創作展を同館で催していた。しかし、市民まつりで文化祭を催していた狛江市文化協議会が解散したため、同協会が市民まつり実行委員会に参加、まつりの一環として開催することになった。

創作展は市民の文化向上を目指し、市民センターが完成した翌年の昭和53年に初めて開催し、その後は毎年実施していた。コロナ禍で中断したため、今回が4年ぶりとなる。手工芸、絵画、写真、俳句・短歌、彫刻、盆栽、茶道、華道など、様々なジャンルの作品が展示される。グループだけでなく個人も参加できるのが特色。

今回は100人以上が数百点の作品を発表する。また、お茶会に狛江高等学校茶道部が両日午後に参加する。華道は小学生3人が生け花を展示するほか、12日午後1時からフラワーアレンジメントの体験 (定員10人) も行う。

事務局長の平澤達彦さんは「これまでと違うかたちですが、4年ぶりの創作展を多くの人に楽しんでほしいです」と呼びかけている。

時間は11日は午前10時30分～午後4時、12日は午前9時30分～午後3時30分。入場無料。

問い合わせ ☎3489-1624 平澤さん。

危険箇所などチェック 市民が防災まち歩き

防災の視点から地域をよく知りつなかりを作ろうと9月24日回に初の「防災まち歩き」が行われ、市民約40人が中和泉・西和泉地区を約1時間かけて歩き、災害時の安全性などを細かくチェックし



防災施設で説明を受ける参加者

た。

狛江市市民活動支援センターが企画、狛江市や狛江青年会議所、狛江市赤十字奉仕団、狛江市民生委員児童委員協議会、中和泉町会、中和泉5丁目町会など約10団体の協力で催した。

参加者は根川地区センターで災害協働サポート東京の福田信章事務局長から趣旨や注目点などの説明を受けた。その後、グループに分かれて排水桶管ゲートや防災倉庫、公衆電話ボックス、地域の居場所など災害時に役立つ設備や施設を回り、防災担当者などから説明を受けた。

参加者は「住宅が密集している所が多いので、地震や火災の時の避難路をもう一度考え直さないといけない」「普段歩いている道だったが、障害物が多いことに驚いた」などと話していた。

にほんごしえん子どもサポーターとアナウンサー体験教室募集

ボランティア団体「にほんごしえん」(荒山三千雄会長) が子どもサポーターを募集している。

同会は、行政提案型市民協働事業として多文化共生社会を目指し、狛江市在住の日本語に不慣れな外国にルーツを持つ児童・生徒と保護者の生活言語としての日本語学習のサポートをしている。

子どもサポーターは、日本文化や学校生活について、同世代の子どもと多言語の会話を楽しみながら、毎月

第1・2・3土曜日に、西河原公民館を中心とした市内施設で、国際コミュニケーション能力を高めることを目的に、多くの小学生を募集している。

そのチャレンジ企画として、25日田午前10時から中央公民館で「アナウンサー体験教室」を開催する。

日本語が苦手な人が楽しみながら日本語に慣れ親しむことを目的にしたもので、狛江市出身の声優と元NHKスポーツアナウンサーを講師に、アニメのワンシーンなどを音読し、日本語を口にする練習を行う。対象は小学生以上で定員は先着10人。同会のホームページ (二次元コード) から申し込む。



問い合わせ ☎03-3430-1111 内線2454 狛江市企画財政部政策室市民協働推進担当。

フラやウクレレでハワイ気分 雨にも負けず初のイベント

ハワイアンミュージックやフラダンス、ハワイ風の屋台などを楽しむ「コマエdeハワイ」(同実行委員会主催、コマラジ共催、狛江市など後援) が10月8日回・9日回に狛江えきまえ広場などで開かれた。9日は雨で、音楽演奏やフラダンスが一部中止となったが、2日間で延べ約1,500人がハワイ気分を楽しんだ。

会場では、今年8月に起きたマウイ島火災の救援金の呼びかけが行われ、80,131円が集まった。救援金は狛江市を通してマウイ島に届けることにしている。



フラダンスでハワイ気分を味わう